

令和3年3月23日

招 集

**令和3年**

**第1回**

**西胆振行政事務組合議会定例会**

**行政執行方針・行政報告**

令和 3 年第 1 回 西胆振行政事務組合議会定例会の開会にあたり、組合行政の執行に対する所信について申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大は、当地域の人の流れや経済にも大きな影響を与えていますが、今後予定されるワクチン接種などを踏まえ、令和 3 年度からはポストコロナを踏まえた施策を展開していく必要があります。

また、地方では本格的な人口減少が始まり、今後も厳しさを増していく中で地方自治体の運営を行っていかねばなりません。

このような厳しい環境下ではありますが、新型コロナによって停滞し、大きく変わった社会情勢に対応して、地域への観光客や移住・2地域居住者など、関係人口を増やし、活性化を進めるには、安心・安全な地域であることが重要となります。

その責務を担い、1市3町の安心と安全の基盤である西胆振消防は、消防・救急・救助への高い技能と、豊富な知識を併せ持つ「専門職集団」として、装備や施設の適切な更新を図り、様々な災害に対応する訓練の充実や、質の高い行政サービスを提供する人材の育成に努めてまいります。

また、胆振地域の消防業務の合理化と効率化を目的とした「通信指令台」の共同運用について、令和3年度より具体的な検討を始める予定であります。

次に、令和 3 年度 西胆振行政事務組合予算の概要について申し上げます。

当組合としては、新型コロナの影響により構成市町の財政状況が、更に厳しさを増していることを念頭に置いて令和 3 年度の予算編成を行い、火葬場の整備事業費及び運営管理経費に合計 9,530 万円の他、伊達消防署における消防団車庫新設事業、指揮車と消防団積載車の購入などを計上し、総額を 14 億 7,444 万 4 千円としたところであります。

消防を取り巻く環境が日々変化し、その任務も拡大の一途をたどる中、地域住民の安全と安心を守る消防機関として、時代の要請に答えられる行政改革と組織変革を進め、長期的な視野に立ちながら社会情勢を的確に把握し、将来を見据えた消防行政を展開してまいります。

組合議員各位、並びに地域住民の皆様には、今後も一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。令和 3 年度の「行政執行方針」といたします。